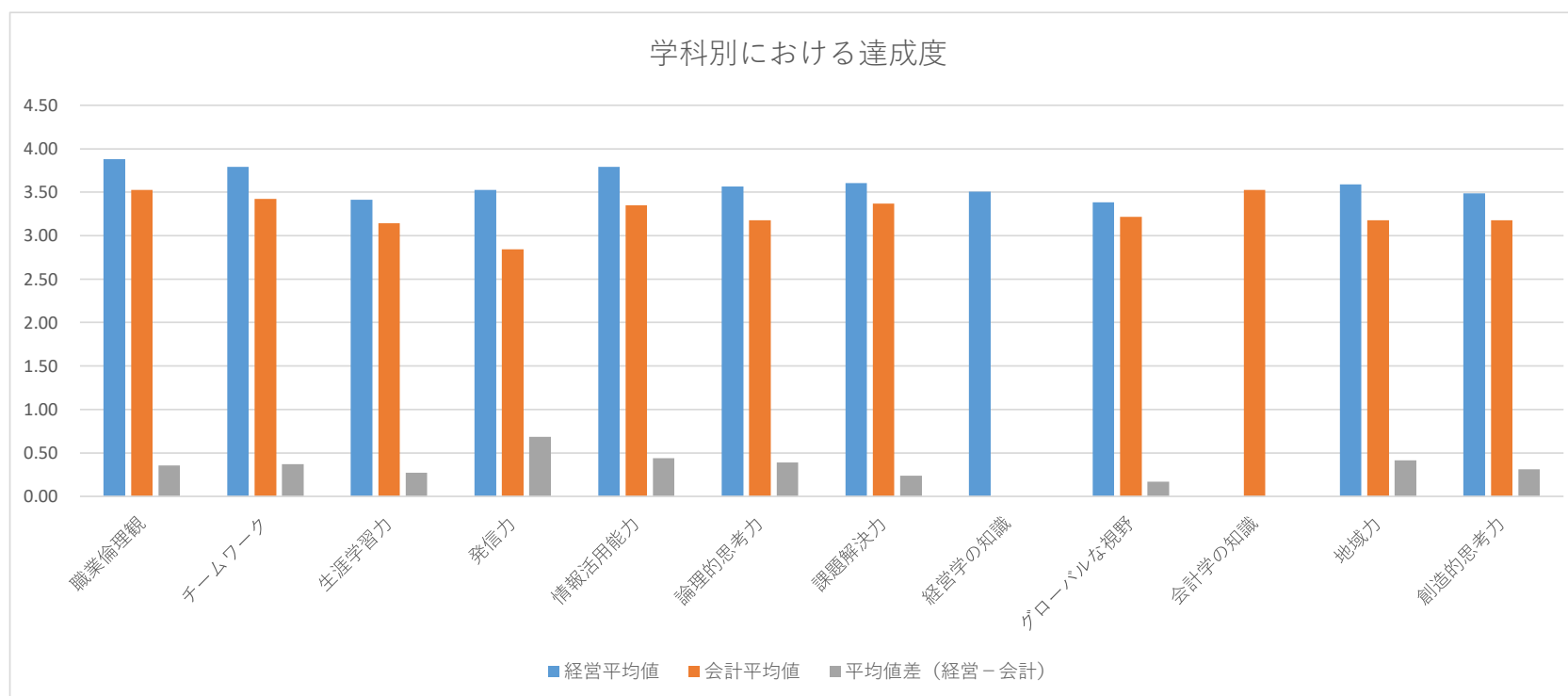


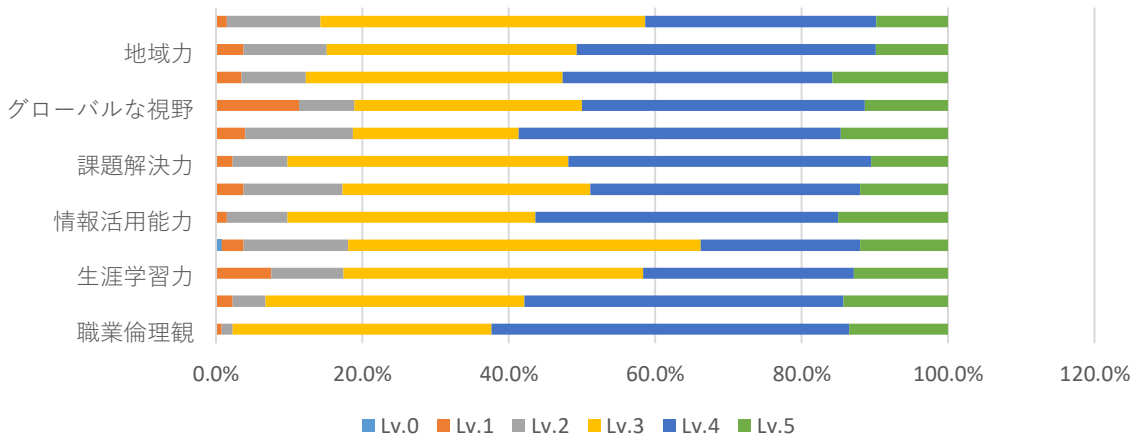
2020年度 DP（ディプロマポリシー）に関連した能力に関するルーブリック調査（アンケート）

2021年1月実施

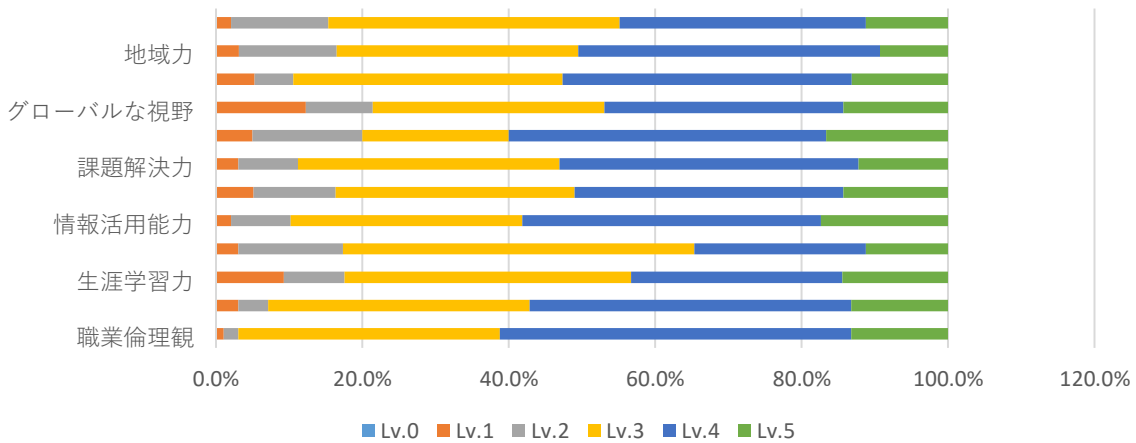
	職業倫理観	チームワーク	生涯学習力	発信力	情報活用能力	論理的思考力	課題解決力	経営学の知識	グローバルな視野	会計学の知識	地域力	創造的思考力	総平均
全体平均値	3.73	3.63	3.30	3.23	3.60	3.40	3.50		3.31		3.42	3.35	3.45
経営平均値	3.88	3.79	3.41	3.53	3.79	3.57	3.61	3.51	3.38		3.59	3.49	3.59
会計平均値	3.53	3.42	3.14	2.84	3.35	3.18	3.37		3.21	3.53	3.18	3.18	3.27
平均値差（経営－会計）	0.36	0.37	0.27	0.68	0.44	0.39	0.24		0.17		0.41	0.31	



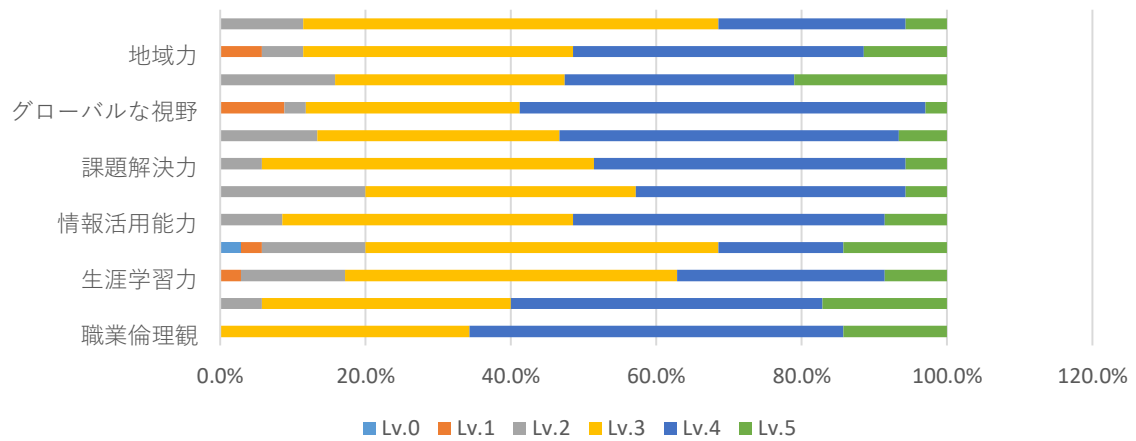
### 全体（133名/155名）

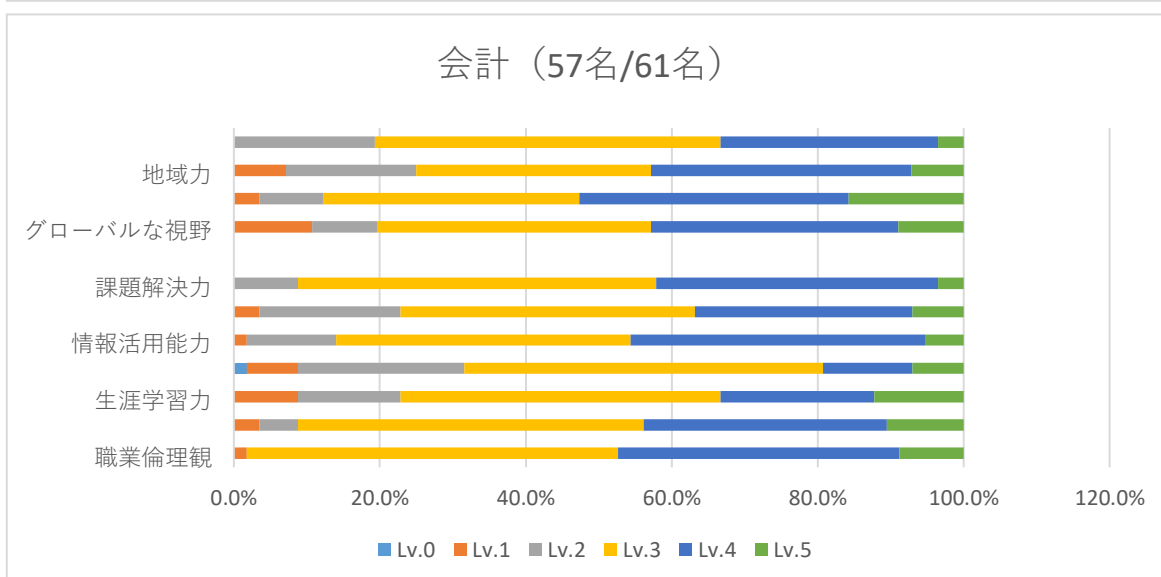
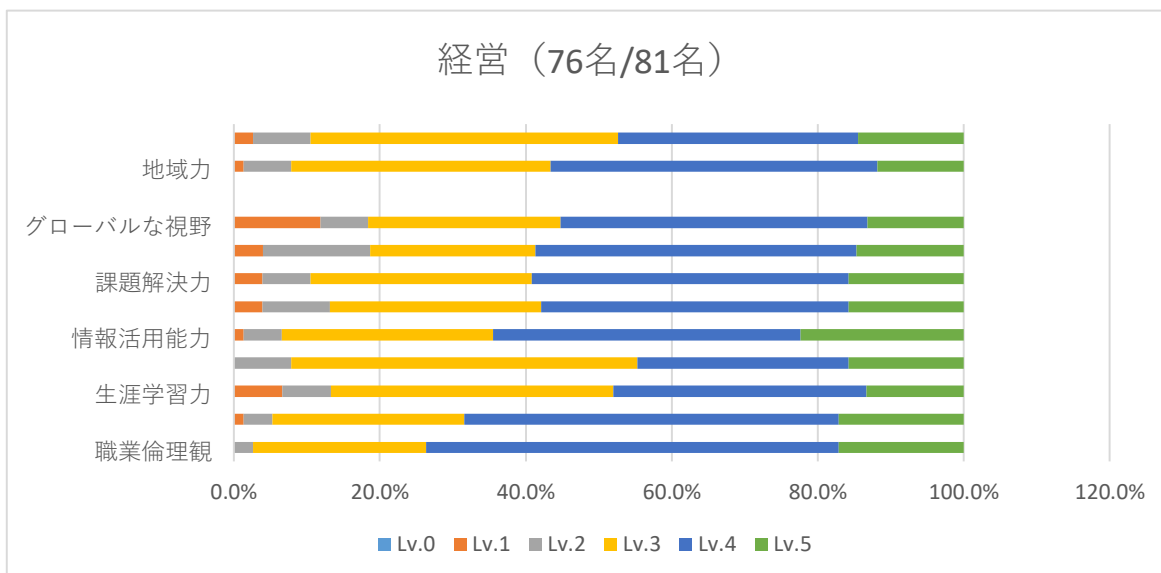


### 男子（98名）



### 女子（44名）





対象：商学部4年次、アンケート回収率：133人/155人 85.8%

実施時期：卒業年次の1月（2021年1月）

#### ≪所見≫

DPに関連する能力をルーブリックの形式で学生自身が自己評価したもの。

4.0を1つの到達目標値として教育プログラム全体を構成してきたが、総平均値は3.45とやや届いていない。

職業倫理観、チームワーク、そして情報活用能力が高い値となっており、特に授業やゼミ内において行われたグループワークやフィールドワーク等の効果でチームワーク値が高くなっていると考えられる。

一方で、生涯学習力と発信力が低い値となっている。変化の激しい現代社会においては、生涯にわたって自主的に学修を行い、能力をアップデートしていく必要があるため、生涯学習力については、その意義を低学年の内から伝えられる仕組みが必要と考えられる。また、発信力については、経営学科と会計学科で大きく差が出た。これは授業運営にそれぞれの特徴が出たものと考えられる。会計学科が簿記の演習に費やす時間が多いのと比べ、経営学科は外部との接触機会も多く、プレゼンテーションを行う機会が多く設けられている。また、経営学科の観光まちづくりコースにおいては地域に出る機会も多く、外部の人とのコミュニケーションでより発信力を向上させたと考えられる。

本集計にはないが、GPAの平均を見た場合は、経営学科よりも会計学科の方が高く出ている。そのため、経営学科の学生の方が自己効力感が高いのではないかと仮説も考えられる。自己効力感を調査項目に含めると、より効果的な分析につながる可能性がある。